

令和
6
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～



3	年		組	名 前	
----------	---	--	---	--------	--

愛知教育文化振興会
三河教育研究会



原稿用紙の正しい書き方

原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

ただし「から書き出すときは一マスあけない

話しことば・会話は行をかえる

話しことば・会話の二行目は一マス下げる

会話文の次の行から新しく文が始まるときは一マス下げる

話の内容が変わるときも一マス下げる

書き直すときの記号
つけくわえる
書きかえる
とる
行をかえる

三 人 で に じ の ふ も と を 主 人 で さ が し に 行 く

お 姉 ち ゃ ん が 聞 き ま し た が わ か り ま せ ん

あ る の か な 。 ど こ か ら 出 て る の か な

に じ て ふ し ぎ だ ね 。 ど う し て い ろ ん な 色 が

と 、 お 兄 ち ゃ ん が さ け び ま し た 。

や ん と 遊 ん で い る と 「 あ 、 に じ だ 」

ず っ と 小 さ い こ ろ に お 兄 ち ゃ ん と お 姉 ち

に じ の ふ も と

「。」一マス

一マスあける

「と」は書くと同じマスに

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

さいごの一マスあける

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和6年度版 作文の友 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会
刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819
印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

「わたし」の^{せつ}説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

作文の友

～書くこと 大好き～

3



もくじ

- ① 「わたし」の^{せつ}説明文を書こう ……2
・中心を明らかにして書きましょう
- ② 心が動いたことを詩で表そう ……6
・心の動きが合ったわるように、言葉を考えて詩を書きましょう
- ③ 道具のひみつをつたえよう ……13
・知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめましょう
- ④ 本から発見したことをつたえ合おう ……18
・読書感想文を書きましょう
- ⑤ クラスの思い出作りのために ……28
・考えの理由を明らかにして書きましょう

自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、つたえたいこと、中心を明らかにして、「わたし」の説明文を書きましょう。

☆書くじゆんじよ

- ① つたえたいことを書き出す。
- ② 中心を決めて、文章の組み立てを考える。
- ③ 文章を書く。
- ④ 文章を読み合う。

一 つたえたいことを書き出そう。

クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、とくいなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけていること。
- ④ ①、②、③が分かりやすくつたわる出来事。

わたし

二 つたえたいことの中から、中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

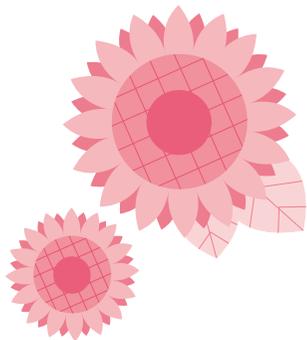
書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことの中から中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
クラスへのよびかけ		つたえたいことの中心

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがわかるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2018年度版

いつも見なれているものや、聞きなれている音でも、よく見たり、耳をすまして聞いたりしていると、「はっ」と思うことがあります。詩とは、心に強く感じたことを短い言葉で表したものです。

あなたの目、耳、鼻、口、手をよくはたらかせて、そのときの心の動きを、どんな言葉で表したらよいか考えてみましょう。

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

三は後ろの35〜36ページを使いましょう。

四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合しましょう。



友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

一 詩を読みましょう。

今日は、なんだ

新城・東陽小 菅沼 大輝

今日は、なんだ

いつも言っている

ぼくがきゆう食のこん立をさぐるとき

いつも言っている言葉

休み時間になると

階^{かい}だんをとんとんと下りる

一階のきゆう食室^{しつ}に近づいて

おいをくんくんくん

あまいような

こうばしいような

いろいろなにおいでさぐりやすい

ちなみに今日の予想^{よそう}は

みそしるとかきあげ

みそのにおいはかく実^{じつ}だ

あまからいようなこのにおいは

ちよつとまようけど

きつとかきあげだ

においでこん立をさぐるのって

わくわくしておもしろい

何だか気分は名たんてい

いよいよきゆう食の時間

今日は、なんだ

ふたを開^あけるまでどきどきする

よし このにおい

ぜったいみそしるにかきあげだ

ん あれれ あれ……

「わあ、おいしそう。」

友だちのうれしそうな声

今日のおかずは 豆^{まめ}ふハンバーグ



みそしるは当たっていたけれど……

でも 外れたときほど

当てたいと強く思う

ぼくは きつと明日も

においできゆう食のこん立をさぐっている

今日は、なんだ

(『みかわの子』第54号)

作者が詩で表したかったのは、どんなことでしょう。そのためにどんな言葉を使^{つか}っていますか。気づいたことを友だちと話し合ってみましょう。

二 書くことを決めて、言葉を集めましょう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

	楽しかったこと	
	うれしかったこと	
	はっとしたこと	
	おどろいたこと	

書いたことの中から、とくに強く心にのこっていることに○をつけましょう。

○言葉を集めたメモ

書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思うかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

○書きたいこと

心の動きを表すために
言葉をえらびましょう。

- ・ 色や形
- ・ 動き
- ・ 音
- ・ においやさわった感じ

○言葉を集めたメモ

三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりな言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」

Blank writing area for poem title and content, featuring a horizontal line and vertical dashed lines.

四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合い、いいなと思ったところをつたえ合いましょう。

題名

作者名

いいなと思ったところ

Form for sharing poems, with a table structure for title, author, and feedback.

題名	作者名	いいなと思ったところ

題名

作者名

いいなと思ったところ

Form for sharing poems, with a table structure for title, author, and feedback.

題名	作者名	いいなと思ったところ

道具のひみつを つたえよう

○知りたいことに合った方ほうで調べ、
分かったことを整理してレポートにまとめましょう

みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。

☆書くじゅんじよ

- ① 調べることを決める。
- ② 調べる方ほうを考える。
- ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
- ④ 調べて分かったことを整理する。
- ⑤ つたえたいことがはっきり分かるように組み立てを考える。
- ⑥ 下書きを書く。
- ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

二 調べたいと思った理由を書こう。

調べるものが決まったら、なぜ調べてみたいと思ったか、理由を書きましょう。

○題（調べること）
.
○調べたいと思った理由
.

三 調べたことを整理しよう。

知りたいことに合った方ほうをえらんで、調べましょう。分かったことをメモに書いておきましょう。

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

◎調べる方ほうのれい

- ・かんさつする

調べたいものをよく見たり、さわったりして、分かったことを記録する。写真をとっておいてもよい。



- ・人に聞く

調べたいことについて、くわしく知っている人に聞く。聞きたいことを整理してから聞くとよい。



- ・本やしりょうで調べる

調べたいことについて書かれた本を、図書館などでさがして読む。



- ・インターネットで調べる

知りたいことについての言葉を、けんさくワードに入力して調べる。

四 レポートの組み立てを考えよう。

内よう	ポイント
題名	短い言葉で分かりやすく書きましょう。
1 調べた理由	「～ので調べてみました。」「～だから調べました。」とつなげると書きやすい。
2 調べ方	かんさつする、人に聞く、本で調べるなど、自分が調べた方ほうをくわしく書きましょう。
3 調べて分かったこと 調べて分かったことには(1)(2)(3)と番号を付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・文章だけでなく、図や写真、表やグラフなどを入れてくふうすると、より分かりやすいレポートになります。 ・目、耳、鼻、口、手などを使ってかんさつしたことを、数字やたとえて表すと、読む人によりよかつたわります。 ・人に聞いたことは、「～だそうです。」「～ということです。」という言葉を使って書きましょう。
(1)	
(2)	
(3)	
4 調べた感想	自分で調べたことについて、思ったことや考えたことを書きましょう。
調べるときに使った本	本の書名は「 」をつけて書き、出版社名も書きましょう。

五 レポートを書こう。
五は後ろの37〜38ページを使いましょう。

六 感想をつたえ合おう。
書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ	よいと思った ところ	題名	名前

自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ	よいと思った ところ	題名	名前

はっ 本から発見したことを つたえ合おう



かんそう
○読書感想文を書きましょう

たくさん本に出会い、読書すること
で、ゆたかな気持ちになれます。
心にのこる本をえらび、感じたことを
大切にして、文章にまとめてみましょう。
☆書くじゆんじよ

- ①本をえらぶ。
- ②感じたことや思ったことがあるところ
に、ふせんをつけ、読み返す。
・感じたことや思ったことをふせんに
書くときよい。
- ③いちばん心にのこったところをえら
び、何を中心に書くか決める。
・心にのこった理由を書くときよい。
- ④書くじゆんじよを考え、感じたこと
や思ったことを組み立てていく。

一 作品に学ぼう。

なにもかもうまくいっていますか？

高浜・高浜小 新美 千穂

① わたしは、最初、「お話しかせてクリストフ」という本の題名を見て、どんな話を聞かせてくれるのかとわくわくしました。クリストフという少年とその家族が、ルワンダという国からイギリスへ来て、はだの色や育った所のちがいがいからいじめられてしまう話です。しかしルワンダでの体けんをみんなに話したことで、みんながクリストフのこと

始め
① 本を読む前の気持ちと、どのような話なのかという、かんなんなあらずじから書き出しています。

を分かってくれて、なかよくなることができました。クリストフは、もっとたくさんの人に自分の体けんを知ってもらいたいと思い、本にすることを決意しました。だから、わたしたちもクリストフの思いやせんそうについて知ることができました。

② わたしには、たくさんのお友だちがいます。その中には、お父さんがナイジェリア出身ではだの色がわたしたちとちがう子もいます。わたしたちは二年生の時、同じクラスになりました。わたしは、「いっしょに遊ぼう。」と声をかけました。その日からわたしたちは毎日いっしょに遊ぶようになりました。その

中
② 新美さんは、クリストフに起こった出来事について、自分の生活と重ね、身近にいる外国せきの友だちとのことについて書いています。
このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

子はいつもにこにこしていて、わたしが悲しい顔をしていると、

「どうしたの。」

と声をかけてくれ、はげましてくれれます。わたしは、そんなやさしいところや明るくて元気なところが大好きです。はだの色がちがうからいじめるなんて、わたしには全く分かりません。はだの色なんか気にしないで、たくさん遊んだり話したりすれば、なかよくなれるはずです。楽しいことばかりだと思います。

③ クリストフは、ルワンダでせんそうにまきこまれて、大けがをしました。弟は死んでしまいました。なぜ、せんそうをするのでしょいか。せんそうは、うしなうものばかりです。

悲しい思いしかのこりません。本には、「人間のかちにちがいがいないことが分かっていないから。どこの世界にも他の人より上にいないと気がすまない人がいるんだ。」と書いてありました。わたしは、そんな人は自分勝手ですごくずるい人だと思います。どんな人でも、たくさん話をしてみれば、同じ人間で、自分と何も変わらないことがわかるはずですよ。そうすれば、どんな人ともなかよくなれると信じています。

④ 今もどこかの国で、せんそうがおきています。とても悲しいことです。早くせんそうが終わって、みんながなかよくくらせる国になるといいと思います。そして、今、わたしに

③・④

本を読んで心にのこった「せんそう」をキーワードに、自分がどのように感じたのかを書いていきます。本の中の言葉を使って考えを書いていくところがよいですね。



できることは、友だちを大切にすることです。わたしのまわりでいじめやなか間外れが起きないように、よいところをたくさん見つけて、なかよくしていけるようにしたいです。

⑤ クリストフのお母さんが
「何もかもうまくいっていますか。」
と聞く場面があります。世界中の子どもたちが、
「はい。うまくいっています。何もかもね。」
と、答えられる日が来ると思います。

(平成二十七年 度『高浜市内 読書感想文コンクール作品集』)

著者 ニキ・コーンウエル
訳者 渋谷 弘子
書名 「お話かせてクリストフ」
発行所 文研ブックランド

○読んだ本を記ろくしよう
読んだ本の記ろくをつけ
ましょう。
教科書上100ページから105
ページや下66ページをさん
考にして、本をさがして読
みましょう。



⑤ さい後にクリストフのお母さんのせりふを本文からぬき出すことで、自分も本の中の登場人物になったつもりで、これからの世界がどのような世界がどようになつてほしいか書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわってきますね。

終わり

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

二 感想をメモにまとめよう。

書名		作者名	出版社名
(1) この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2) あらすじや本のだいたいの内よう		
(3) 心にのこった場面や言葉、はじめて知ったこと	(4) 自分が思ったこと、考えたこと		

三 組み立てメモにしてみよう。
 ○ 書き出した感想をもとにして、始め、中、終わりの組み立てを考えましょう。

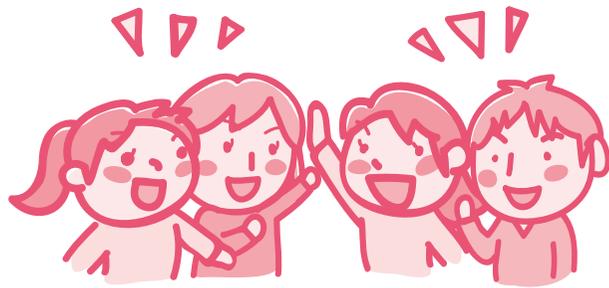
題名	始め	

題名
 ・本文から学んだことを短い言葉にする
 ・さい後に考えるとよい

始め
 ◎読んだ本の名前
 ◎本をえらんだ理由
 ☆本のあらすじ

◎心にのこったところ
 ☆心にのこったところにかん係のあることが書かれているところ
 ◎感想

クラスの思い出作りのために



○考えの理由を明らかにして書きましょう

- ① 考えとその理由を明らかにする。
- ② 自分の考えを分かってもらうために、だいたいだと思う理由をえらんだり書き足したりする。
- ③ 「始め」や「終わり」に自分の考えを、「中」にその理由を書く。

クラスの楽しい思い出作りのために、何をするのがよいか考えてみましょう。考えとその理由を明らかにして、文章を書くときには、次のようなところに気をつけて書きましょう。

四 組み立てメモをもとに、原こう用紙に書こう。

終わり	中

終わり

◎本を読んで学んだこと
 ☆どのように生かしていくのか

中

◎そう思った理由
 ・同じような体けんから
 ・自分だったらと想像
 など
 ※このまとまりは、書きたいことに合わせてふやしたりけずったりしましょう

◎…大事な内よう
 ☆…あるとよい内よう

クラスの思い出作りのために

考え ○ <hr/> <hr/>	
理由①	理由②
<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>
<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>
<hr/> <hr/>	<hr/> <hr/>

メモの書き方

- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

二 考えを深めよう。

自分の考えを分かってもらうために、理由についてさらにくわしく書き足しましょう。

クラスの思い出作りのために

一 自分の考えとその理由を書こう。
何をするか

それをえらんだ理由

終わり	中												始め
自分の考え	考えの理由												自分の考え
.													.

三 文章の組み立てを考えよう。

30 ページの自分の考えとその理由をどのようににじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

書き出しはマスあける

⑤

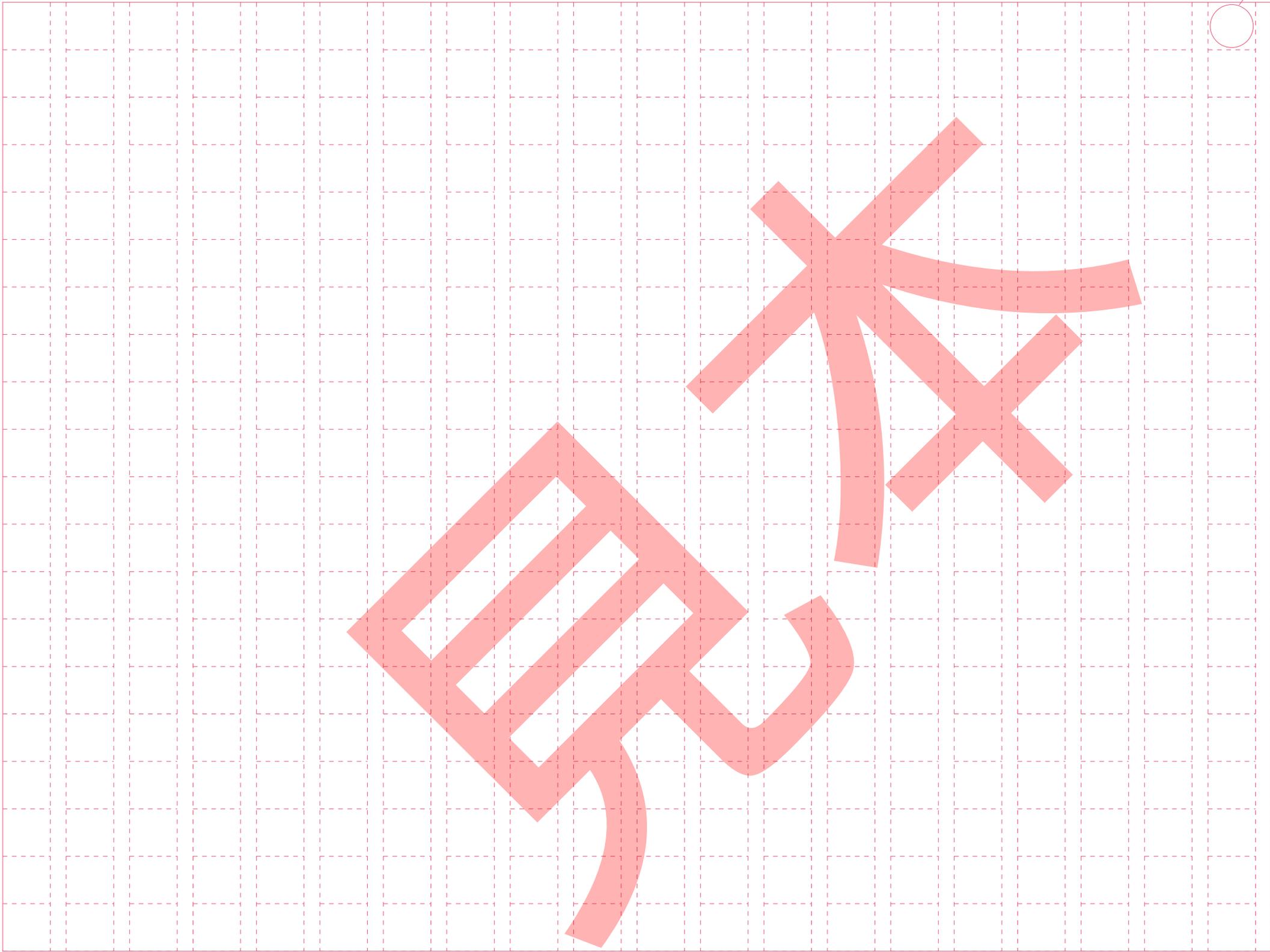
クラスの思い出作りのために

のりしろ

※切り取った用紙をもう一度はることもできます。

キリリトキリリセシ

四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。名前（ ）



□

「わたし」の説明文を書こう

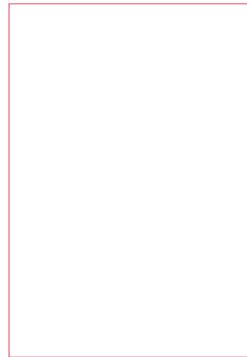
のりしろ

※切り取った用紙をもう一度はることもできます。

キ リ ト リ セ ン

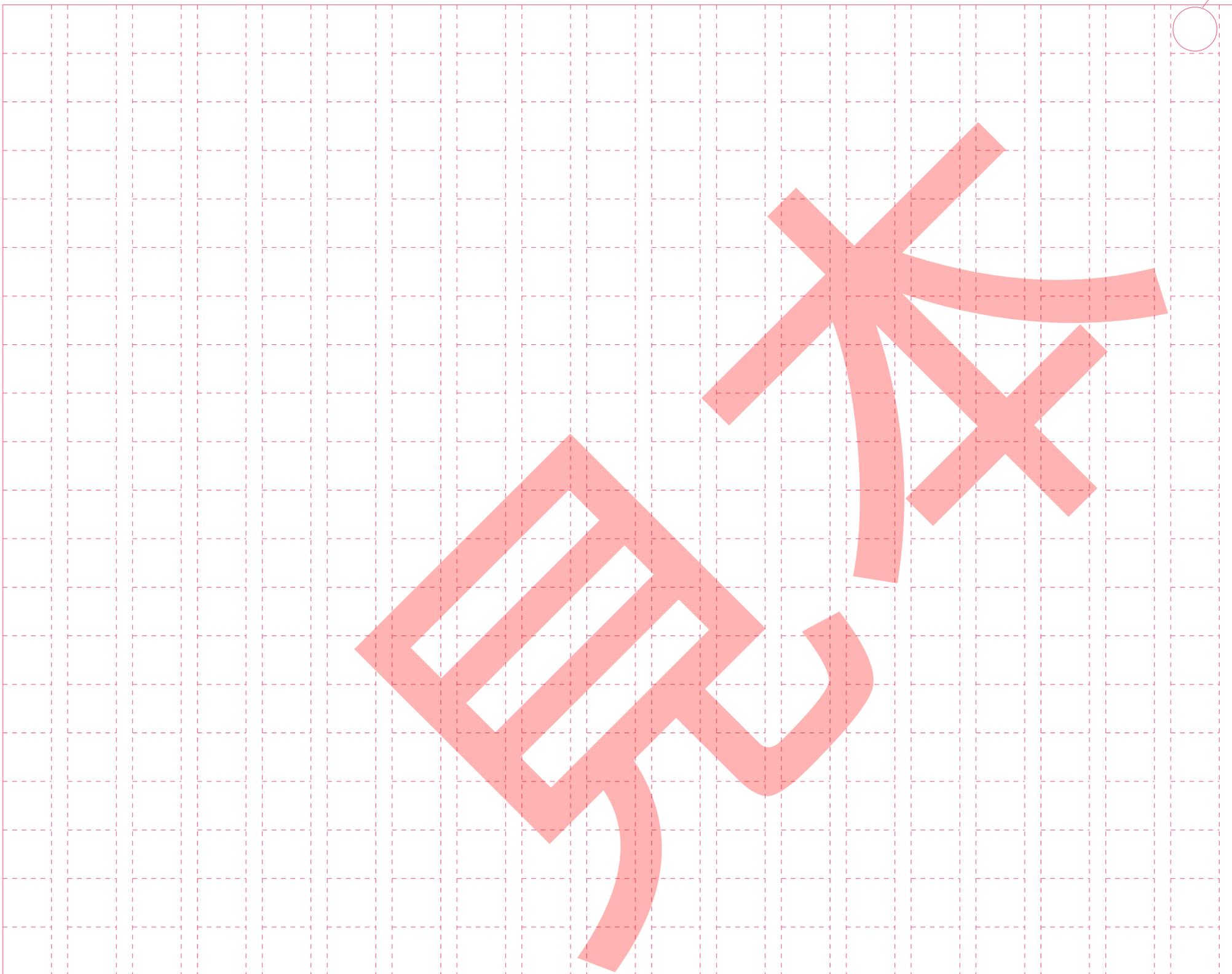
三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

書き出しはマスあける



わたしの顔

三 年 組



五 レポートを書こう。

教科書23ページをさん考にして、レポートの組み立てをもとに、道具のひみつをレポートにまとめましょう。

名前(

)

題名

1 調べた理由

2 調べ方

3 調べて分かったこと

4 調べた感想

○調べるときに使った本

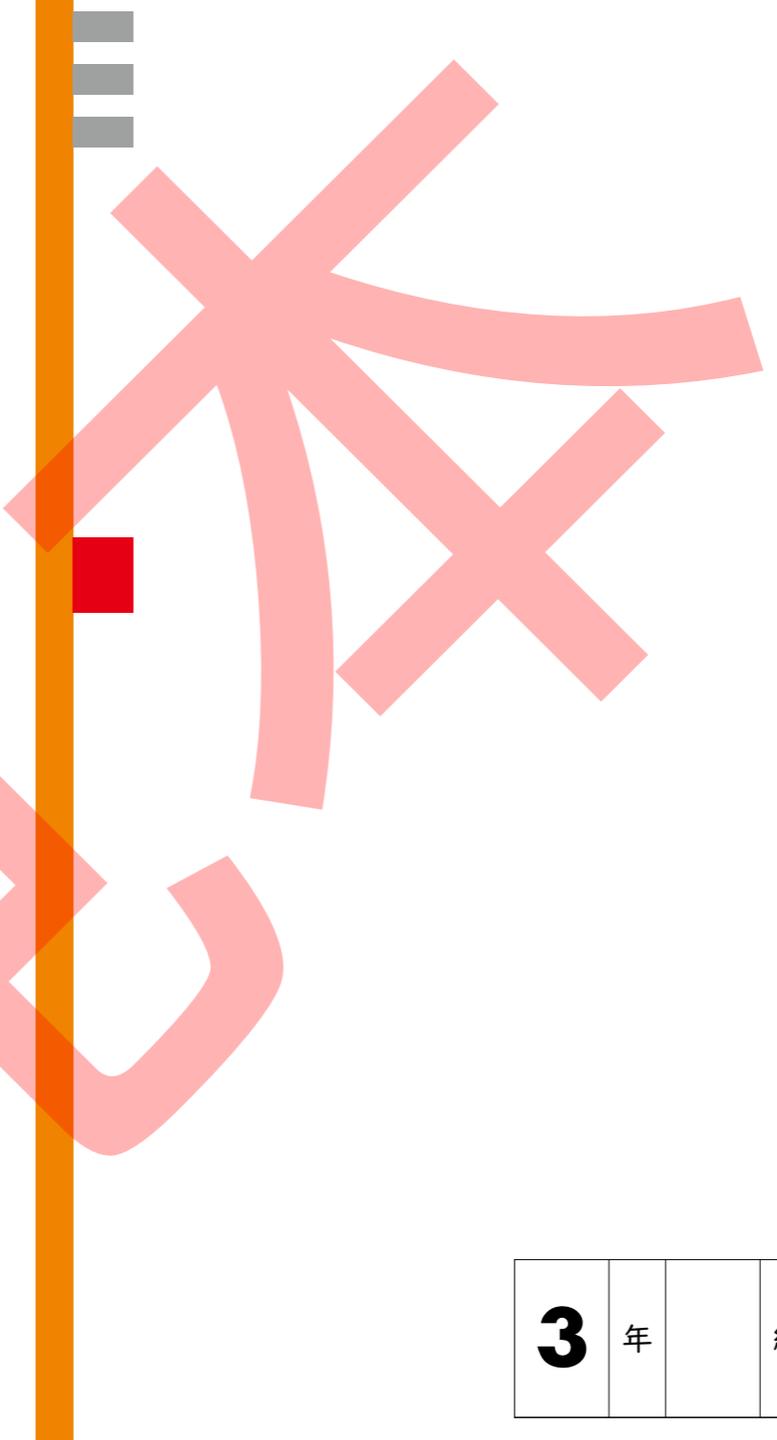
令和
6
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～

教

指導展開例あり



3	年		組	名前	
----------	---	--	---	----	--

愛知教育文化振興会
三河教育研究会



原稿用紙の正しい書き方

原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

ただし「から書き出すときは一マスあけない

話しことば・会話は行をかえる

話しことば・会話の二行目は一マス下げる

会話文の次の行から新しく文が始まるときは一マス下げる

話の内容が変わるときも一マス下げる

書き直すときの記号
つけくわえる
書きかえる
とる
行をかえる

三 人 で に じ の ふ も と を 主 人 で さ が し に 行 く

お 姉 ち ゃ ん が 聞 き ま し た が わ か り ま せ ん

あ る の か な 。 ど こ か ら 出 て る の か な

に じ て ふ し ぎ だ ね 。 ど う し て い ろ ん な 色 が

と 、 お 兄 ち ゃ ん が さ け び ま し た 。

や ん と 遊 ん で い る と 「 あ 、 に じ だ 」

ず っ と 小 さ い こ ろ に お 兄 ち ゃ ん と お 姉 ち

に じ の ふ も と

「。」一マス

す ず 木 し お り

一マスあける

「と」は書くと同じマスに

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

さいごの一マスあける

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和6年度版 作文の友 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会
刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819
印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

作文の友

～書くこと 大好き～



「わたし」の^{せつ}説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

○目標
○関連

伝えたいことを中心に明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、「『わたし』の説明文」を書くことができる。

もくじ

〈教科書との関連〉

- ① 「わたし」の説明文を書こう ……2
- ・中心を明らかにして書きましょう
- 上「『わたし』の説明文を書こう」
- 心が動いたことを詩で表そう……6
- ・心の動きがたわわるように、言葉を考えて詩を書きましょう
- 上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」
- ② 道具のひみつをつたえよう……13
- ・知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめましょう
- 下「道具のひみつをつたえよう」
- ③ 本から発見したことをつたえ合おう……18
- ・読書感想文を書きましょう
- 上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」
- ④ クラスの思い出作りのために……28
- ・考えの理由を明らかにして書きましょう
- 下「クラスの思い出作りのために」
- ⑤ 指導展開例あり

自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、つたえたいことを中心に明らかにして、「『わたし』の説明文」を書きましょう。

☆書くじゆんじよ

- ① つたえたいことを書き出す。
- ② 中心を決めて、文章の組み立てを考える。
- ③ 文章を書く。
- ④ 文章を読み合う。

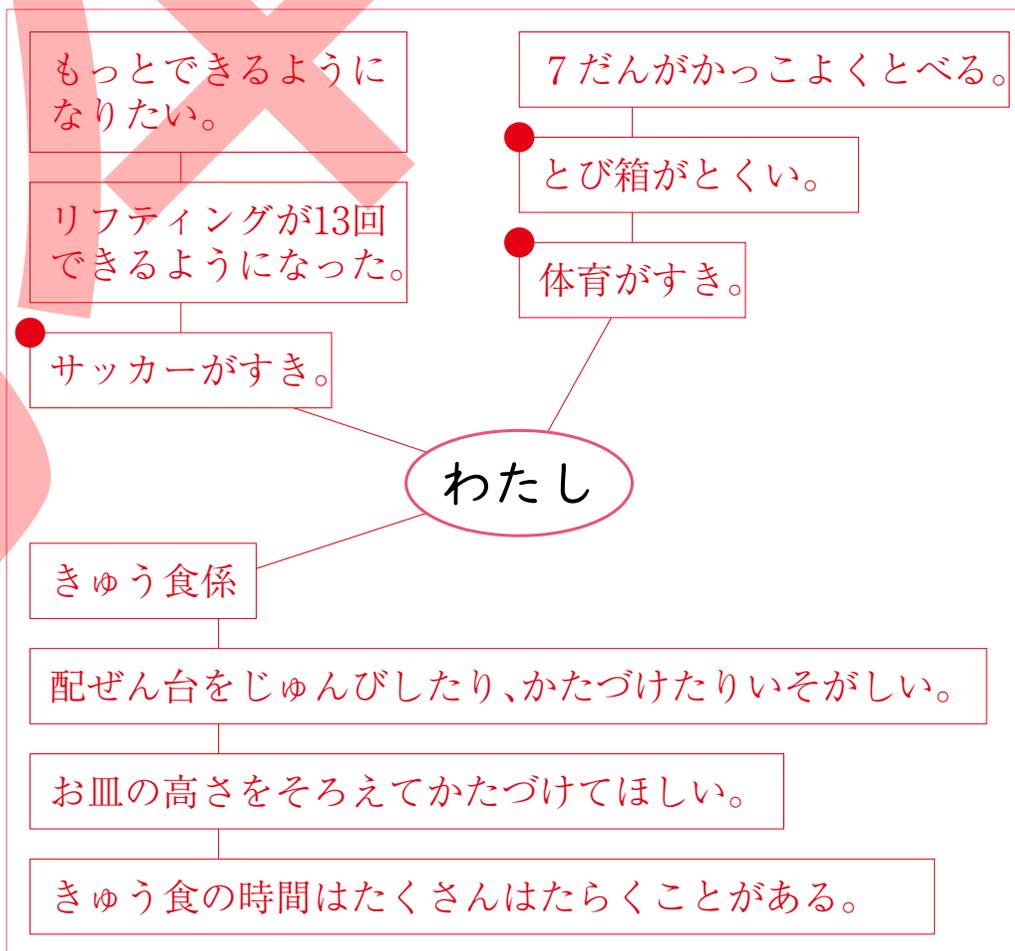
一 つたえたいことを書き出そう。

クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、とくいなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけていること。
- ④ ①、②、③が分かりやすかつたわる出来事。

※書き出した中から、伝えたいことを中心を決め、印をつけると分かりやすい。



二 つたえたいことを中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

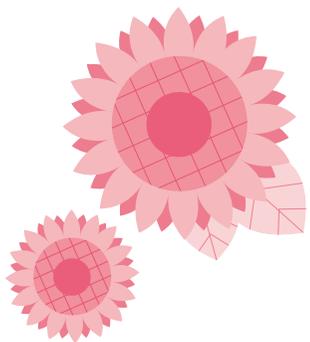
書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことを中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
<p>クラスへのよびかけ</p> <p>いっしょにサッカーしたり楽しく体育したりしよう。</p>	<p>・ 運動場でする体育で一番とくいなものはサッカー。もっと上手になりたい。</p> <p>・ 体育館でする体育で一番とくいなものはとび箱。</p> <p>・ 二年生のとき、七だんとべた。</p>	<p>つたえたいことを中心</p> <p>・ 体育がとくい。</p>

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがわかるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2018年度版



詩の表現技法

○目標
○関連

心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。
上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」

友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

- 三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。
- 三は後ろの35〜36ページを使いましょう。
- 四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合いましょう。



いつも見なれているものや、聞きなれている音でも、よく見たり、耳をすまして聞いたりしていると、「はっ」と思うことがあります。詩とは、心に強く感じたことを短い言葉で表したものです。あなたの目、耳、鼻、口、手をよくはたらかせて、そのときの心の動きを、どんな言葉で表したらよいか考えてみましょう。

一 詩を読みましょう。

今日は、なんだ

新城・東陽小 菅沼 大輝

今日は、なんだ

いつも言っている

ぼくがきゆう食のこん立をさぐるとき

いつも言っている言葉

休み時間になると

階^{かい}だんをとんとんと下りる

一階のきゆう食室^{しつ}に近づいて

おいをくんくんくん

あまいような

こうばしいような

いろいろなにおいでさぐりやすい

ちなみに今日の予想^{よそう}は

みそしるとかきあげ

みそのにおいはかく実^{じつ}だ

あまからいようなこのにおいは

ちよつとまようけど

きつとかきあげだ

においでこん立をさぐるのって

わくわくしておもしろい

何だか気分は名たんてい

いよいよきゆう食の時間

今日は、なんだ

ふたを開^あけるまでどきどきする

よし このにおい

ぜったいみそしるにかきあげだ

ん あれれ あれ……

「わあ、おいしそう。」

友だちのうれしそうな声

今日のおかずは 豆^{とう}ふハンバーグ

一階のきゆう食室^{しつ}に近づいて

おいをくんくんくん

あまいような

こうばしいような

いろいろなにおいでさぐりやすい

ちなみに今日の予想^{よそう}は

みそしるとかきあげ

みそのにおいはかく実^{じつ}だ

あまからいようなこのにおいは

ちよつとまようけど

きつとかきあげだ

みそしるは当たっていたけれど……

でも 外れたときほど

当てたいと強く思う

ぼくは きつと明日も

においできゆう食のこん立をさぐっている

今日は、なんだ

(『みかわの子』第54号)

作者が詩で表したかったのは、どんなことでしょう。そのためどんな言葉を使^{つか}っていますか。気づいたことを友だちと話し合ってみましょう。

※詩の場合、文の終わりに句点(。)を打たなくてもよい。

二 書くことを決めて、言葉を集めましょう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はつとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

	楽しかったこと	妹がしいてくれた羽毛ぶとんで、いっしょにねたこと。
	うれしかったこと	クリスマスプレゼントに自転車をもらったこと。
	はつとしたこと	キャンプ場で星空を見たこと。
	おどろいたこと	水族館で見たくらげがふわふわとういていたこと。
○	ふしぎに思ったこと	セミはなぜ朝と夕方に鳴いているのだろうかと思ったこと。

書いたことの中から、とくに強く心にのこっていることに○をつけましょう。

※教科書(上) P.78・79 「言葉相だん室 人物やものの様子を表す言葉」を参考にするとよい。

○言葉を集めたメモ

書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思ううかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

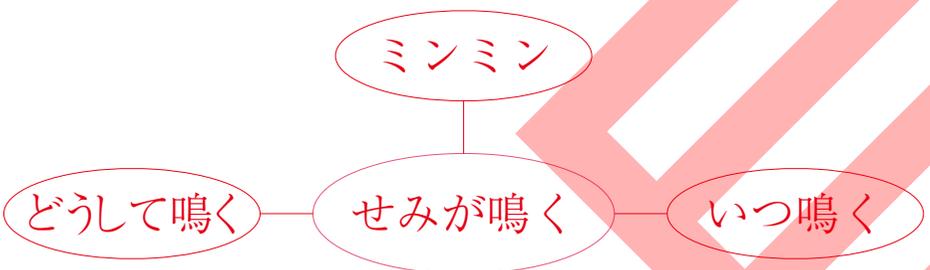
○書きたいこと

なぜ鳴くの

※教科書(上) P.81

心の動きを表すために言葉をえらびましょう。

- ・色や形
- ・動き
- ・音
- ・においやさわった感じ



※教科書(上) P.154・155 「言葉の広場」を見ながら、言葉集めさせるとよい。

三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりな言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」

※教科書(上)P83「詩でよく用いられる書き方のれい」を参考に、工夫を考えさせるとよい。

四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合い、いいなと思ったところをつたえ合いましょう。

題名

作者名

いいなと思ったところ

題名

作者名

いいなと思ったところ

○目標 知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。
 ○関連 「下」「道具のひみつをつたえよう」

道具のひみつをつたえよう



○知りたいことに合った方ほうで調べ、しらす分かったことを整理してレポートにまとめましょう
せい
罫線増設用 (P37で使用)

みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。

☆書くじゆんじよ

- ① 調べることを決める。
- ② 調べる方ほうを考える。
- ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
- ④ 調べて分かったことを整理する。
- ⑤ つたえたいことがはっきり分かるように組み立てを考える。
- ⑥ 下書きを書く。
- ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

えん筆	○
けしゴム	
はさみ	

二 調べたいと思った理由を書こう。

調べたものが決まったら、なぜ調べてみたいと思ったか、理由を書きましょう。

○題 (調べること)

・ えん筆のひみつ

○調べたいと思った理由

・ えん筆がなければ、文字や絵がかけない。

・ いつ、どのように発明されたのかを知りたい。

※学級での自由な発表の後、集まったものから選ばせてもよい。

三 調べたことを整理しよう。

知りたいことに合った方ほうをえらんで、調べましよう。分かったことをメモに書いておきましよう。

※次ページに調べる方法の例が載せてある。

調べて分かったこと

調べた本やウェブページ

調べて分かったこと

調べた本やウェブページ

※このメモは、コピーを用意しておくことと調べたことをまとめやすい。

◎調べる方ほうのれい

- ・かんさつする

調べたいものをよく見たり、さわったりして、分かったことを記しておく。写真しやしんをとっておいてもよい。



- ・人に聞く

調べたいことについて、くわしく知っている人に聞く。聞きたいことを整理してから聞くとよい。



- ・本やしりようで調べる

調べたいことについて書かれた本を、図書館かんとくなどでさがして読む。



- ・インターネットで調べる

知りたいことについての言葉を、けんさくワードに入力して調べる。

内よう	ポイント
題名	短い言葉で分かりやすく書きましよう。
1 調べた理由	「～ので調べてみました。」「～だから調べました。」とつなげると書きやすい。
2 調べ方	かんさつする、人に聞く、本で調べるなど、自分が調べた方ほうをくわしく書きましよう。
3 調べて分かったこと 調べて分かったことには(1)(2)(3)と番号を付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・文章だけでなく、図や写真<small>しやしん</small>、表やグラフなどを入れてくふうすると、より分かりやすいレポートになります。 ・目、耳、鼻、口、手などを使ってかんさつしたことを、数字やたとえて表すと、読む人によりよくつたわります。 ・人に聞いたことは、「～だそうです。」「～ということです。」という言葉を使って書きましよう。
4 調べた感想	自分で調べたことについて、思ったことや考えたことを書きましよう。
調べるときに使った本	本の書名は「 」をつけて書き、出版 <small>しゅつぱん</small> 社名も書きましよう。

※五 P.37・38のレポートを組み立てをコピーして組み立てメモを作るとよい。

四 レポートの組み立てを考えよう。

五 レポートを書こう。
五は後ろの37〜38ページを使いましょう。

六 感想をつたえ合おう。
書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

名前	題名	よいと思ったところ	自分のレポートにも生かせそうだと 思ったところ

名前	題名	よいと思ったところ	自分のレポートにも生かせそうだと 思ったところ

※内容だけでなく、組み立てや書き方にも着目させるとよい。

○目標 すぐれた作品を読み味わうとともに、心に残った本を選び、感動したところや、読んで思ったり、考えたりしたことを整理し、文章で表現することができる。

○関連 上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」

たくさんのお本に出会い、読書することで、ゆたかな気持ちになれます。

心にのこる本をえらび、感じたことを大切に、文章にまとめてみましょう。

☆書くじゆんじよ

- ①本をえらぶ。
- ②感じたことや思ったことがあるところに、ふせんをつけ、読み返す。
・感じたことや思ったことをふせんに書くときよい。
- ③いちばん心にのこったところをえらび、何を中心に書くか決める。
・心にのこった理由を書くときよい。
- ④書くじゆんじよを考え、感じたことや思ったことを組み立てていく。

はっ 本から発見したことを つたえ合おう



かんそう
○読書感想文を書きましょう

一 作品に学ぼう。

なにもかもうまくいっていますか？

高浜・高浜小 新美 千穂

読む前の気持ち

① わたしは、最初、「お話きかせてクリストフ」という本の題名を見て、どんな話を聞かせてくれるのかとわくわくしました。

クリストフという少年とその家族が、ルワンダという国からイギリスへ来て、はだの色や育った所のちがいからいじめられてしまう話です。しかしルワンダでの体けんをみんなに話したことで、みんながクリストフのこと

あらすじ

を分かってくれて、なかよくなることができました。クリストフは、もっとたくさんの人に自分の体けんを知ってもらいたいと思い、本にすることを決意しました。だから、わたしたちもクリストフの思いやせんそうについて知ることができました。

自分の体験と重ねて

② わたしには、たくさんのお友達があります。その中には、お父さんがナイジェリア出身ではだの色がわたしたちとちがう子もいます。わたしたちは二年生の時、同じクラスになりました。わたしは、

「いっしょに遊ぼう。」

と声をかけました。その日からわたしたちは毎日いっしょに遊ぶようになりました。その

始め

① 本を読む前の気持ちと、どのような話なのかという、かんなんなあらすじから書き出しています。

中

② 新美さんは、クリストフに起こった出来事について、自分の生活と重ね、身近にいる外国せきの友だちとのことについて書いています。

このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

子はいつもにこにこしていて、わたしが悲しい顔をしていると、

「どうしたの。」

と声をかけてくれ、はげましてくれれます。わたしは、そんなやさしいところや明るくて元気なところが大好きです。はだの色がちがうからいじめるなんて、わたしには全く分かりません。はだの色なんか気にしないで、たくさん遊んだり話したりすれば、なかよくなれるはずです。楽しいことばかりだと思います。

③ クリストフは、ルワンダでせんそうにまきこまれて、大けがをしました。弟は死んでしまいました。なぜ、せんそうをするのですうか。せんそうは、うしなうものばかりです。

悲しい思いしかのこりません。本には、「人間のかちにちがいがいないことが分かっていないから。どこの世界にも他の人より上にいないと気がすまない人がいるんだ。」と書いてありました。わたしは、そんな人は自分勝手ですごくずるい人だと思います。どんな人でも、たくさん話をしてみれば、同じ人間で、自分と何も変わらないことがわかるはずですよ。そうすれば、どんな人ともなかよくなれると信じています。

④ 今もどこかの国で、せんそうがおきています。とても悲しいことです。早くせんそうが終わって、みんながなかよくくらせる国になるといいと思います。そして、今、わたしに

③・④

本を読んで心にのこった「せんそう」をキーワードに、自分がどのように感じたのかを書いていきます。本の中の言葉を使って考えを書いていくところがよいですね。

※本から引用するときは、「」で抜き出させる。



できることは、友だちを大切にすることです。わたしのまわりでいじめやなか間外れが起きないように、よいところをたくさん見つけて、なかよくしていけるようにしたいです。

⑤ クリストフのお母さんが
「何もかもうまくいっていますか。」
と聞く場面があります。世界中の子どもたちが、
「はい。うまくいっています。何もかもね。」
と、答えられる日が来ると思います。

(平成二十七年 度『高浜市内 読書感想文コンクール作品集』)

著者 ニキ・コーンウエル
訳者 渋谷 弘子
書名 「お話かせてクリストフ」
発行所 文研ブックランド

終わり

⑤ さい後にクリストフのお母さんのせりふを本文からぬき出すことで、自分も本の中の登場人物になったつもりで、これからの世界がどのような世界がどようになつてほしいか書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわってきますね。

○読んだ本を記ろくしよう
読んだ本の記ろくをつけ
ましょう。
教科書上100ページから105
ページや下66ページをさん
考にして、本をさがして読
みましょう。



日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

日づけ 月 日
 題名 _____
 作者 _____
 一言感想

二 感想をメモにまとめよう。

書名		作者名	出版社名
(1) この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2) あらすじや本のだいたいの内よう		
<p>・感動した場面を中心に書かせるようにしたい。</p>			
(3) 心にのこった場面や言葉、はじめて知ったこと	(4) 自分が思ったこと、考えたこと		
<p>・心に残った理由を書かせるとよい。</p>			

三 組み立てメモにしてみよう。

書き出した感想をもとにして、始め、中、終わりの組み立てを考えましょう。

題名	始め	始め			
	<p>・感想文の書き方としては、主人公への手紙の形式や、感動した場面にしほっての感想、自分の生活と対比した感想などいろいろある。</p>				
<p>◎ 読んだ本の名前</p>	<p>◎ 本をえらんだ理由</p>	<p>◎ 心にのこったところ</p>	<p>☆ 心にのこったところにかん係のあることが書かれているところ</p>	<p>◎ 感想</p>	

クラスの思い出作りのために



○考えの理由を明らかにして書きましょう

- ① 考えとその理由を明らかにする。
- ② 自分の考えを分かってもらうために、だいたいだと思う理由をえらんだり書き足したりする。
- ③ 「始め」や「終わり」に自分の考えを、「中」にその理由を書く。

○目標 考えの理由を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、書くことができる。

○関連 下「クラスの思い出作りのために」

四 組み立てメモをもとに、原こう用紙に書こう。

終わり	中

終わり

◎本を読んで学んだこと
 ☆どのように生かしていくのか

中

◎そう思った理由
 ・同じような体けんから
 ・自分だったらと想像
 など
 ※このまとまりは、書きたいことに合わせてふやしたりけずったりしましょう

◎…大事な内よう
 ☆…あるとよい内よう

クラスの楽しい思い出作りのために、何をするのがよいか考えてみましょう。考えとその理由を明らかにして、文章を書くときには、次のようなところに気をつけて書きましょう。

クラスの思い出作りのために

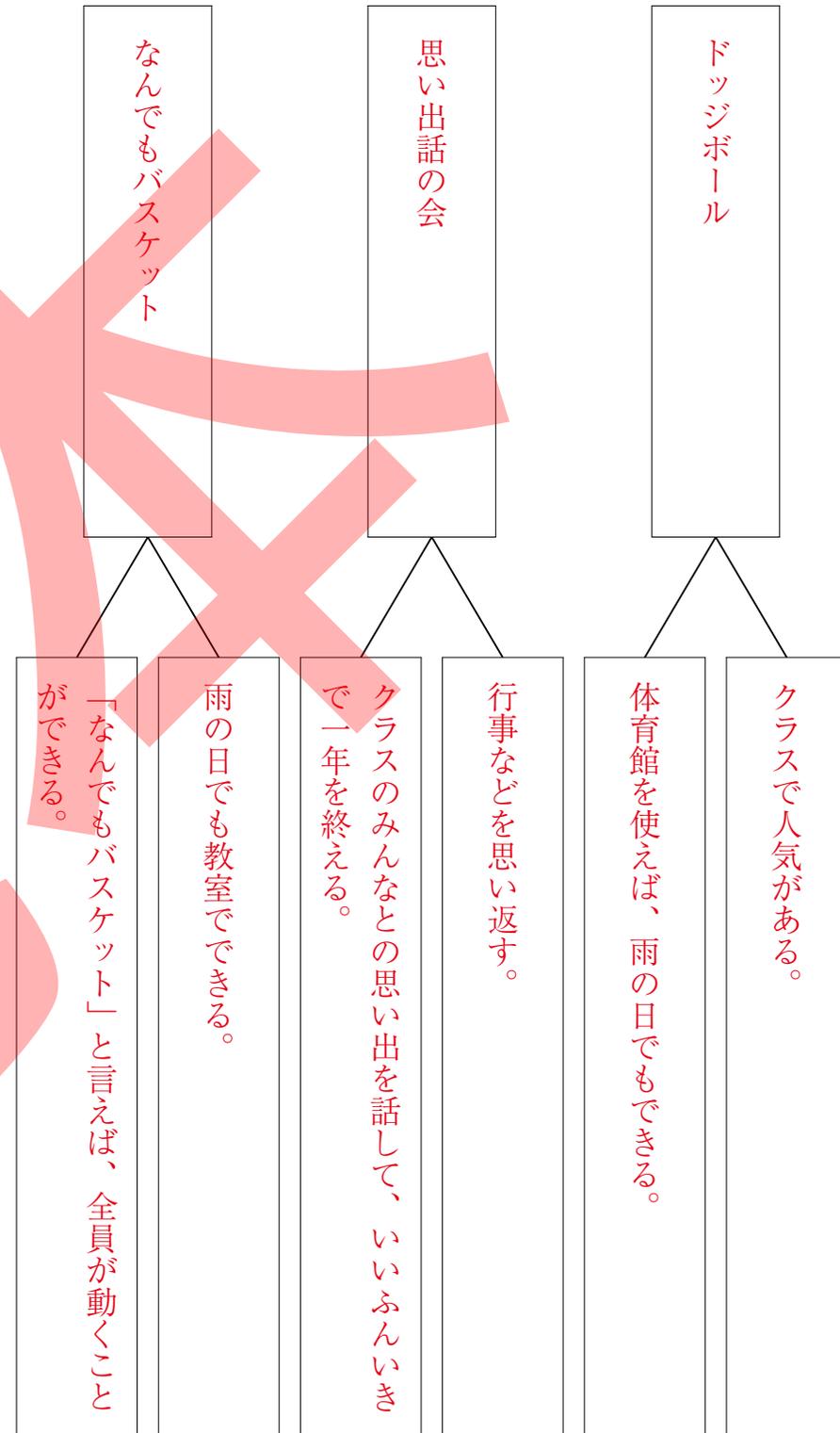
考え ○ クラスの思い出作りのために、ドッジボールを するのがよい。	
理由①	理由②
クラスで人気のある 遊び。	クラス全体がもっと なかよくなれる。
_____ _____ _____	_____ _____ _____
_____ _____ _____	_____ _____ _____

メモの書き方

- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

二 考えを深めよう。
 自分の考えを分かってもらうために、理由についてさらにくわしく書き足しましょう。

クラスの思い出作りのために



一 自分の考えとその理由を書こう。
 何をするか
 それをえらんだ理由

三 文章の組み立てを考えよう。

30ページの自分の考えとその理由をどのようににじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
自分の考え	考えの理由	自分の考え
<p>・全員でドッジボールをするのがよい。</p>	<p>・クラス全体が、もっとなかよくなれるから。</p>	<p>・クラスの中で人気がある遊びだから。</p> <p>・クラスの思い出作りはドッジボールをするのがよい。</p>

※表紙裏「原稿用紙の使い方・書き直し方」を使い、下書きを見直し、文章を完成させるとよい。
 ※段階を意識しながら書くように指導する。

⑤

クラスの思い出作りのために

のりしろ

※切り取った用紙をもう一度はることもできます。

キ リ ト リ セ ン

書き出しは一マスあける

四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。名前（ ）

※段落を意識しながら、書くように指導する。
※教科書(下)P98の「理由を表すときに使う言葉」を使い、考えや理由を分かりやすく書くようにさせる。

□

「わたし」の説明文を書こう

のりしろ

※切り取った用紙をもう一度はることもできます。

キ リ ト セ ン

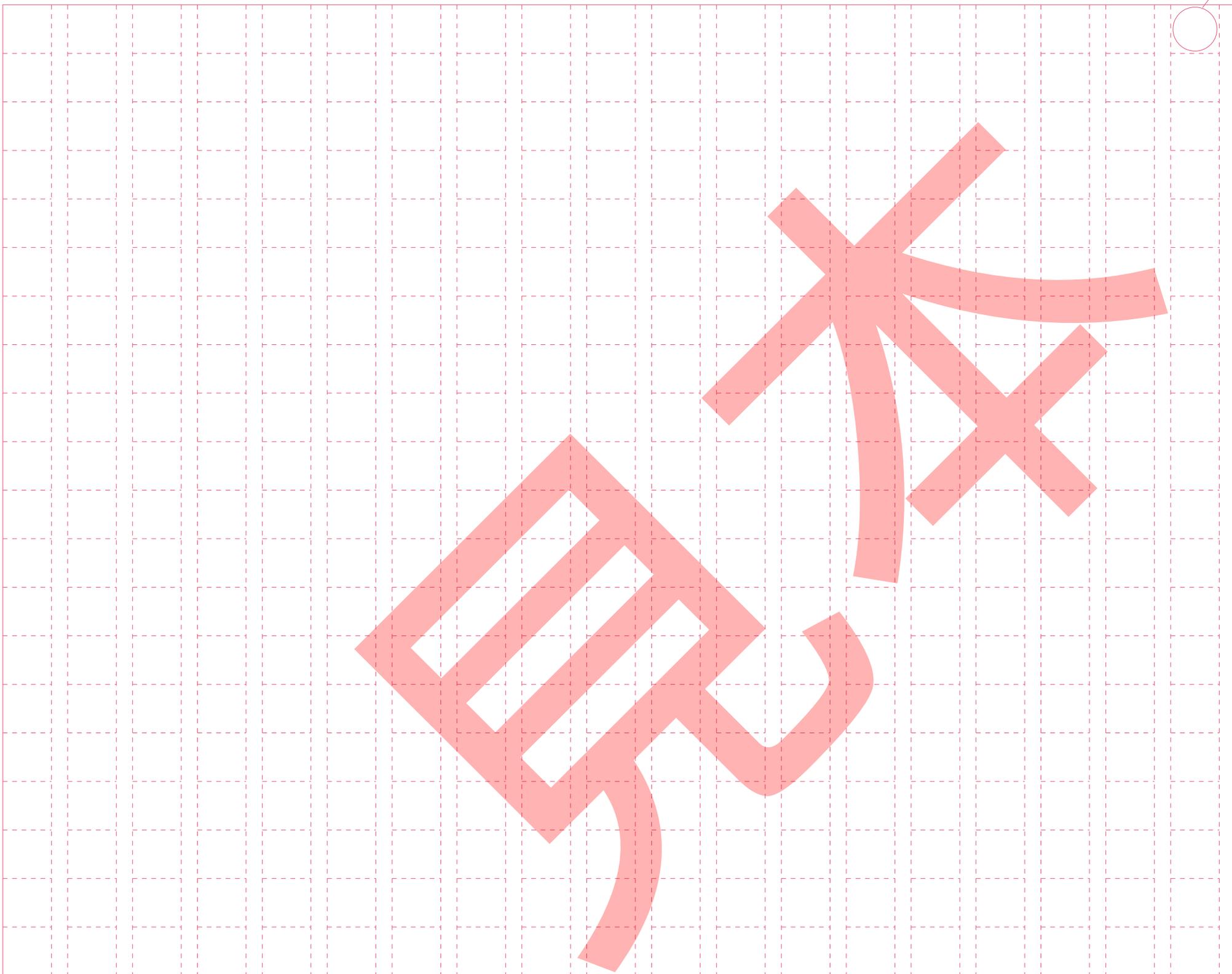
三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

書き出しはマスあける



わたしの顔

三 年 組



※段落を意識しながら、書くように指導する。

五 レポートを書こう。

教科書23ページをさん考にして、レポートの組み立てをもとに、道具のひみつをレポートにまとめましょう。名前()

※横書きの注意点として点(、)でなくコンマ(,)でもよいことや算用数字(1, 2, 3...)を使うことにもおねえるとよい。

題名	
1 調べた理由	
2 調べ方	
3 調べて分かったこと	

※見

4 調べた感想

※「3 調べて分かったこと」の書くスペースが足りない場合は、P13 (教師用) の二次元コードから原稿を印刷して増やすことができる。
その場合「4 調べた感想」の上の罫線で切りはなし、印刷したものをはるとよい。

○調べるときに使った本

※四 組み立てを考えたときにもコピーして使うとよい。

「わたし」の説明文を書こう

——中心を明らかにして書きましよう——

《教科書との関連》

上「わたし」の説明文を書こう」

二 指導事項

- 1 相手に分かりやすく伝えるために、中心を明らかにして説明文を書くという学習課題を確かめ、自分について考えたことを書き出させる。
- 2 自分のどこを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を決めて、組み立てメモを書かせる。
- 3 下書きを書かせ推敲し、清書させる。

一 学習目標

- 1 伝えたいことの中心を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、「わたし」の説明文」を書くことができる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「伝えたいことの中心を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	① 自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、伝えたいことの中心を明らかにして「わたしの説明文」を書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	① 教科書の例を読み、出来上りのイメージをもち、どのように学習を進めていくと、「わたし」の説明文」を書くことができるか考えさせる。
② 伝えたいことを書き出す。	② 自分自身を見つめ直し、自分について考えたことを書き出す。	② 好きなことや得意なこと、苦手なことや直したいと思っていることなどを想起させる。
③ 中心を決めて、文章の組み立てを考える。	③ ①書き出したことの全体を見渡し、自分のどこを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を決める。 ②文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作る。	③ 伝えたいことの中心を選び、それに関連の深い出来事も書き出したことから選ばせる。
④ 文章を書く。	④ ①組み立てを元に、下書きを書く。 ②下書きを見直す。 ③(2)文章を読み合い、面白いと思ったところや気付いたことなどを伝え合う。	④ 表紙裏の「原稿用紙の使い方・書き直し方」を見て、下書きを推敲させる。
⑤ 文章を読み合う。	⑤ 文章を読み合い、面白いと思ったところや気付いたことなどを伝え合う。	⑤ 友だちと「説明文」を読み合い、互いの良さを認め、伝え合わせる。 ○教室掲示、文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。
⑥ 学習を振り返る。	⑥ 学習の振り返りをする。	⑥ この学習で身に付けた力は何か、どんなことに気を付けると「わたし」の説明文」を書くことができたか、身に付けた力をどう生かすかという視点で振り返らせるとよい。

心が動いたことを詩で表そう

——心の動きがたつたわるように、言葉を考えて詩を書きましよう——

《教科書との関連》

上「心が動いたことを詩で表そう」
上「詩を読もう」

二 指導事項

- 1 心を動かされたことを思い出させる。
- 2 気持ちが動いたことや発見したことなどから、書きたいことを見つけ、伝えたいことに合う言葉を選んで詩を書かせる。

一 学習目標

- 1 心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 作品「今日は、なんだ」を学習する。	① 参考作品「今日は、なんだ」を読み味わう。 ・作者が表したかったことを考える。 ・どんな言葉を使っているかを話し合う。	① 参考作品の良い点を挙げさせる。 ○心の動きを伝えるために効果的な言葉を選び、表現する楽しさを知る。
② 感じたことや発見したことを書き、詩の題材を考える。	② ①生活をふり返って題材を集め、特に強く心に残っているものを考える。 (設問一) ②色や形、動き、音、においやさわった感じなど、そのときの様子をくわしく思い出させる。	② 心が動いたことなどを想起させる。
③ 詩を書く。	③ 伝えたいことを短い言葉で詩に書く。 (設問二)	③ 感じたことにふさわしい言葉を考えて、短い言葉で書かせる。
④ 詩を味わう。	④ 友達の詩を読み合い、いいなと思ったところを伝え合う。 (設問四) ・心の動きがよくわかる言葉はどこかを考える。	④ 友達の詩を読み、お互いに認め合う気持ちをもちたせる。

道具のひみつをつたえよう

— 知りたいことに合った方法で調べ、分かったことを整理してレポートにまとめよう —

《教科書との関連》

下「道具のひみつをつたえよう」

一 学習目標

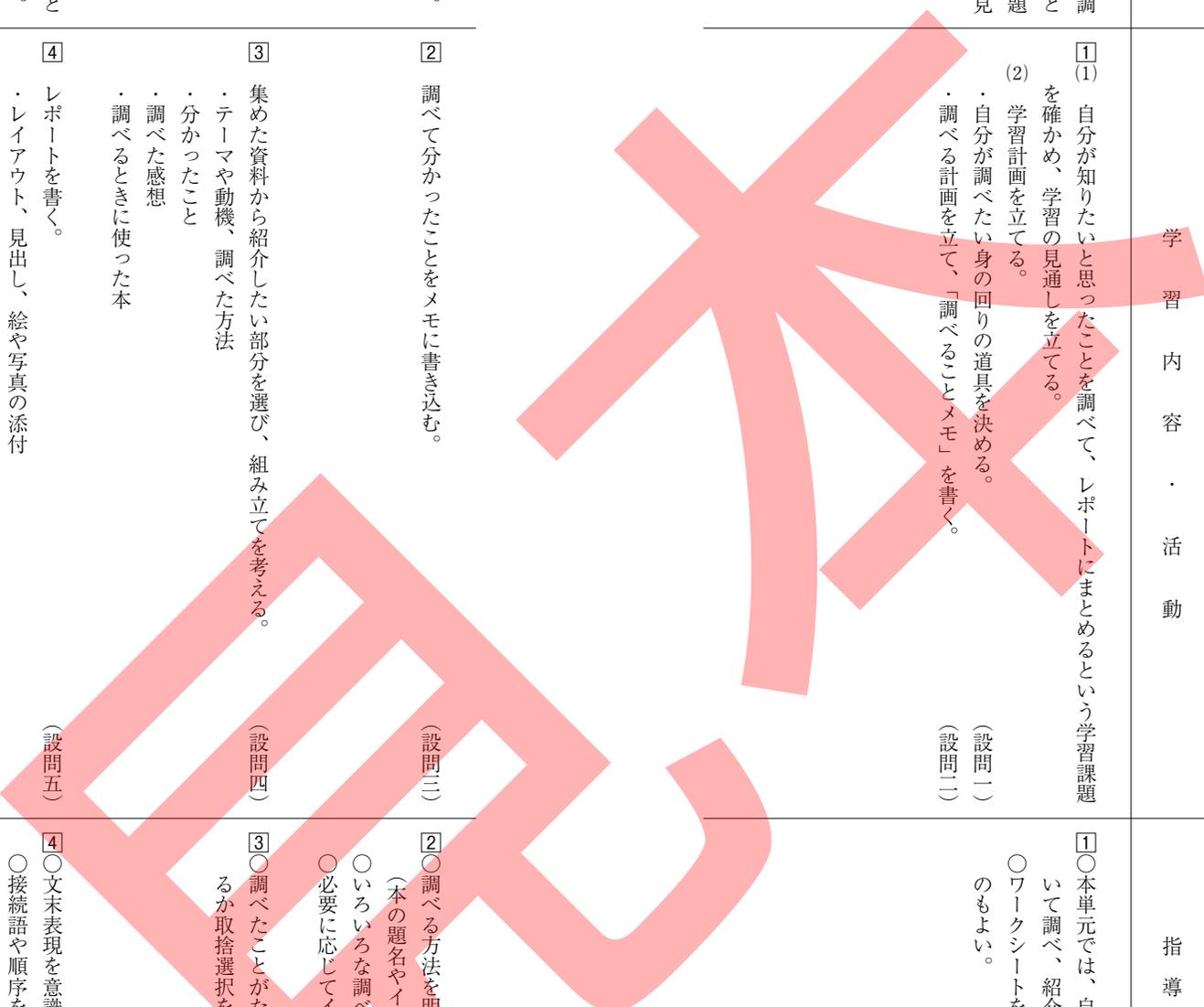
- 1 知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。

二 指導事項

- 1 興味のあることを調べて、レポートにまとめるという学習課題を確かめ、調べることを決めさせる。
- 2 本やインターネットで調べたり、インタビューしたりして、必要な材料を集めさせる。
- 3 調べた事柄の中から必要に応じて情報を取捨選択し、要旨を明確にしてレポートに書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1 知りたいことを調べてレポートにまとめるという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自分が知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめるという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 ② 学習計画を立てる。 <p>・自分が調べたい身の回りの道具を決める。 ・調べる計画を立て、「調べることメモ」を書く。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 本単元では、自分の興味や関心のある道具について調べ、紹介することを知らせる。 ○ ワークシートを利用した学習計画表を作成するのよよい。
<ol style="list-style-type: none"> ② 調べ学習をする。 	<ol style="list-style-type: none"> ② 調べて分かったことをメモに書き込む。 	<ol style="list-style-type: none"> ② 調べる方法を明記させる。 (本の題名やインタビューをした相手など) ○ いろいろな調べ方があることを確認する。 ○ 必要に応じてインタビューの練習をさせる。
<ol style="list-style-type: none"> ③ 構想を練る。 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 集めた資料から紹介したい部分を選び、組み立てを考える。 ・テーマや動機、調べた方法 ・分かったこと ・調べた感想 ・調べるときに使った本 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 調べたことがたくさんあれば、どの内容を入れるか取捨選択をさせる。
<ol style="list-style-type: none"> ④ 調べたことをもとにレポートを書く。 	<ol style="list-style-type: none"> ④ レポートを書く。 ・レイアウト、見出し、絵や写真の添付 	<ol style="list-style-type: none"> ④ 文末表現を意識させる。 ○ 接続語や順序を表す言葉を意識させる。 ○ 必要に応じて、絵や写真を添付させるとよい。
<ol style="list-style-type: none"> ⑤ 感想を伝え合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ⑤ 作品をお互いに読み合い、感想を書いて伝え合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ⑤ 〇よいと思ったところや、見習いたいところを書かせる。 ○ 内容だけでなく、組み立てや表記にも着目させる。
<ol style="list-style-type: none"> ⑥ 学習を振り返る。 	<ol style="list-style-type: none"> ⑥ 学習の振り返りをする。 	



本から発見したことをつたえ合おう

《教科書との関連》
上「三年生の本だな」
下「本から発見したことをつたえ合おう」

― 読書感想文を書きましよう ―

一 学習目標

1 すぐれた作品を読み味わうとともに、心に残った本を選び、感動したところや、読んで思ったり、考えたりしたことを整理し、文章で表現することができる。

二 指導事項

1 参考作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読ませ、書き出しの工夫、感想や考えがどのように書かれているか考えさせる。
2 自分が読んだ本の中から心に残った本を選び、心に残ったところや、自分の感じたこと、考えたことなどをまとめさせる。
3 まとめたことや書き方のヒントを生かして、感想文に表現させる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
<p>① 作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読み、学習計画を立てる。</p>	<p>①(1) 参考作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読み、感想を話し合う。 (設問一)</p> <p>(2) 作品の組み立ての工夫について話し合う。 ・ 始め ・ 中 ・ 終わり</p>	<p>① 参考作品を読むことによって、感想文を書こうとする意欲づけをする。 ○ 書き出しのよさについて気づかせる。 ○ 千穂さんの心の動きが、会話を入れたり、自分の友達のことを思い返して書いたりすることによって、読む人によく伝わってくることに気づかせる。</p>
<p>② 心に残った本を選び、どんな書き表し方をするか構想を練る。</p>	<p>②(1) 心に残った本を選ぶ。 (設問二)</p> <p>(2) 心に残ったところや、自分の思いをまとめる。 (3) 組み立てメモの下の例を参考に、感想文の書き方を考える。 (設問三)</p>	<p>② 心に残った本をあらかじめ、用意させておく。 ○ P24の読書記録を活用するとよい。 ○ 心に残ったところや、感想・思い・考えなどを自由にまとめさせる。 ○ 組み立てメモの下の例を読むことによって、始め・中・終わりの内容を考えさせる。</p>
<p>③ 記述をする。</p>	<p>③ 書き出しのポイントを工夫しながら、記述をする。 (設問四)</p>	<p>③ 書き出しについて注意させる。 ○ 段落を意識しながら書くように指導する。</p>
<p>④ 書いたものを推敲する。</p>	<p>④ 自分の感想文の推敲をする。</p>	<p>④ 加筆・修正をさせる。</p>
<p>⑤ 清書をする。</p>	<p>⑤ 誤字・脱字に気をつけて清書をする。</p>	<p>⑤ 推敲した原稿をもとに清書させる。</p>
<p>⑥ 友達の作品を読み合う。</p>	<p>⑥ 友達の作品を通して、さまざまな感じ方・考え方を学び合う。</p>	<p>⑥ 友達の感想文を読み、お互いに認め合う気持ちをもたせたい。 ○ 文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。</p>
<p>⑦ 学習を振り返る。</p>	<p>⑦ 学習の振り返りをする。</p>	

クラスの思い出作りのために —考えの理由を明らかにして書きましよう—

《教科書との関連》
下「クラスの思い出作りのために」

一 学習目標

1 考えの理由を明らかにして、「始め・中・終わり」のまどまりに分けて、書くことができる。

二 指導事項

- 1 自分の考えを伝えるために、考えの理由を明らかにして書くという学習課題を確かめ、自分の考えと理由を書き出させる。
- 2 順序立てて文章の組み立てを書かせる。
- 3 組み立てをもとに、自分の考えとその理由を、順序立てて書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
<p>① 「考えの理由を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>② 自分の考えをまとめる。</p>	<p>① クラスの思い出作りのために、何をするのがよいのか考えて、文章の組み立てを考えて書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>② 自分の考えとその理由を書き出す。 (設問一)</p>	<p>① 本単元では、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えるために、考えの理由を明らかにして書くことができるようにするという学習課題を確認する。</p> <p>○どのように学習を進めていくと学習課題を達成することができるか、学習の見通しを持たせる。</p> <p>○教科書下P99の言葉の力をおさえ、本単元でできるようにしたいことを確認する。</p>
<p>③ 考えを深める。</p> <p>④ 文章の組み立てを考える。</p> <p>⑤ 文章を書く。</p> <p>⑥ 文章を読み合う。</p> <p>⑦ 学習を振り返る。</p>	<p>③ ① 考えたことについて、ペアやグループで話し合う。 ② 話し合っただけで気付いたことも取り入れながら、自分の考えやその理由を整理して書く。 (設問二)</p> <p>④ 考えとその理由を順序立てて、文章の組み立てを考える。 (設問三)</p> <p>⑤ ① 組み立てを元に文章を書く。 ② 推敲する。 (設問四)</p> <p>⑥ 文章を読み合い、考えや理由が分かりやすく書いているところなどを伝え合う。</p> <p>⑦ 学習の振り返りをする。</p>	<p>③ ① 自分の考えを伝えるときには、どうしてそう考えるのかという理由も一緒に話させる。</p> <p>② 自分の考えをさらに書き足して、読み手に分かりやすく伝えるために理由をくわしく書かせる。</p> <p>③ 理由がいくつかあるときは、大事だと思うものを選ばせる。</p> <p>④ 「始め」や「終わり」に考えを、「中」に考えの理由を書かせる。</p> <p>⑤ 「なぜなら」「……から」など、理由を表す言葉を用いて書かせる。</p> <p>⑥ 教科書下P99の言葉の力を確認し、友達の書いた文章を評価する視点を確認させる。</p> <p>⑦ 本単元を通して、身に付けることができる言葉の力は、どのような学習をすると身に付くかを考えさせ、振り返りをさせる。ここで身に付いた力を生かすことができる場面を考えさせることもよい。</p>